

既存の7つの基本的な視点の下、以下の取組を推進

### 【基本的な方針】

- 継続的かつ長期的な視点で取り組む。
- 総合的な磨き上げ、集中的な取組の実施。
- 全体的な底上げを図る。

### 【目標・指標】

- これまでの成果や政府全体目標※を踏まえ、2030年に向けた新たな全国目標・指標を検討し設定。  
※ 現在：2030年訪日外国人旅行者数、訪日外国人旅行消費額、地方部での外国人延べ宿泊者数、外国人リピーター数、日本人国内旅行消費額
- 人数目標について政府目標に対応した設定は引き続き必要（目標の設定方法をどのようにするかは検討調整）。
- 質の目標・指標（延べ宿泊者数、満足度等）を定め、体積で考えることも検討
- 取組を行う公園・地域ごとに個別の目標・指標を検討し設定。

### 【新たに追加、重視すべき項目】

- 施設単体の改善から面的な利用拠点上質化へ重点を移行
- 文化等地域の主要観光資源も含めた連携
- 複数公園・周辺観光地との広域的な連携・周遊利用の促進
- 地域の金融機関や交通機関等との協定に基づく成果の実現
- ターゲットを意識したマーケティング戦略導入
- 国定公園でのインバウンド対策の支援

→これらの取組の推進にあたってDMOとの連携をより一層強化

## 【当面 5 年間ににおける推進の枠組み】

### ① 先行する公園

- これまでの「先行的、集中的な取組を実施する 8 公園」で、これまでに整えた受入環境や基盤を生かし、インバウンド受入れの役割を担う。+ 3 公園もこれに準じる。

- ※ 受入れ方は関係者の取組意向や目指す公園の利用のあり方による。
- ※ 地域協議会の体制・継続、対象範囲は取組内容や意向に応じ検討。
- ※ 公園ごとの成果評価、計画の再検討を実施し、次期プログラムに基づく施策を展開。

### ② 集中・総合的な取組を行うモデル地域

- 「先行する公園」「+ 3 公園」のうち、さらに高みを目指す地域。

- ※ 世界水準を意識し、多様な主体との連携を発展強化、新プログラム策定、強力なプロモーション活動等を集中的に実施。

### ③ 上記以外の地域

- 8 公園において成果があった取組を横展開する地域

- ③-1 総合型：地域協議会等の組織・ステップアッププログラムの策定により同時一体的に複数の取組を実施
- ③-2 個別事業型：基盤整備（多言語対応）や海外発信等の底上げを中心に推進。加えて、熱心な自治体・民間事業者による魅力あるコンテンツづくり・滞在環境の上質化等を個別に支援

- 国定公園

- ※ 都市部の近さによる利用集中の分散への期待、ポテンシャルの高さ、地域における受入体制等を考慮し、一部の公園において基盤整備（多言語対応）や海外発信等を中心に支援。

- 満喫プロジェクトの成果を踏まえた自然公園制度を見直し、自然公園全体に波及。

- ※ 自然体験プログラムの促進、集団施設地区の上質化、公園事業の経営再生支援等。